

## 美濃焼の“これから”を考えます

陶磁器試験場(☎59)8312)

### 今も昔も“薄さ”を想い

今月は、中に注いだ液体が透き通るほどの薄さを持つ磁器、『透かしの碗皿』を紹介します。



「飲み物のおいしさが違う」。そんなことを感じさせてくれるのが、明治時代から受け継がれるこの『透かしの碗皿』だ。

この器の最大の特徴はその「薄さ」である。厚さはおよそ1mm。飲み物が透けるほどの薄さは口当たりを良くし、おいしさをぐっと高めてくれる。さらに、この薄さとは裏腹に高温で焼いた磁器製のため、しっかり強度も保っている。軽くて使いやすいこの碗皿は、きっといつものティータイムを優雅なひとときへと誘ってくれるはずだ。

TOTTOKI作品は陶磁器試験場で  
展示しています。

『透かしの碗皿』

丸直製陶所(妻木町)  
奥田正高 さん



## 市長の部屋から

9月3日(土)

「土岐市敬老会」をセラトピア土岐で開催しました。この会は、長年にわたり社会に貢献されてきた方々に敬意を表するとともに、長寿をお祝いするものです。今年度中に90歳の誕生日を迎えられる皆さんをお招きし、64人の方々にご出席いただきました。

終戦をちょうど二十歳の頃に迎えられ、戦後の日本をけん引してこられた皆さまに、あらためて敬意を表します。

土岐市においてもますます高齢化が進んでいる昨今ですが、元気なお年寄りの方が増えており、多くの皆さまが健康で90歳を迎えられることをたいへん喜ばしく思います。

皆さまがこれからも健康で充実した毎日を送られることを、心よりお祈り申し上げます。

土岐市長 加藤靖也

